
平成 29 年度

美里町

高齢者福祉に関するアンケート調査結果

目 次

第 1 章	調査の概要	1
第 2 章	調査結果.....	2
	調査の発送・回答状況	2
	回答者の属性.....	4
	回答者の健康状態と介護・生活状況	6
	運動機能	10
	栄養状態・口腔機能.....	14
	毎日の生活について.....	17
	地域での活動について	21
	たすけあいについて.....	22
	健康について.....	25
	高齢者福祉について.....	28
第 3 章	総括.....	33

第 1 章 調査の概要

■ 調査の趣旨

高齢者が重度の要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、各地域で地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが推進されており、要介護状態になる前の高齢者に対する効果的な介護予防のための取り組み、つまり新しい介護予防・日常生活支援総合事業（以下、新総合事業）はこの取り組みの 1 つとして重視されています。また、新総合事業において、住民主体の活動を多様な主体の参画による多様なサービスを充実することを通じて支援し、地域の実情に応じた地域の支え合いの体制づくりを推進することにより、要支援者等に対する多様なニーズに応えていくことが求められています。

これらの一環として、本調査を実施し調査結果から、事業計画の策定及び新総合事業の進捗管理や事業評価のために必要な地域診断を行う上での基礎資料とします。

■ 調査の概要

- 調査対象 : 要介護認定を受けていない 65 歳以上（平成 29 年 1 月 1 日現在）の高齢者
（一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者）
- 調査期間 : 平成 29 年 1 月 16 日から平成 29 年 1 月 31 日まで
- 調査方法 : 郵送配布・郵送回収

■ 集計上のデータ処理について

- ・集計結果は小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、複数回答の設問において回答比率の合計は必ずしも 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答設問においては、回答の合計数が調査母数を上回っている場合があります。

第 2 章 調査結果

調査の発送・回答状況

【発送総数】 町全体：3,989人 <内訳> 男性：1,757人、女性：2,232人
 【回答総数】 町全体：3,033人 <内訳> 男性：1,338人、女性：1,695人
 【回答率】 町全体：76.0% <内訳> 男性：76.2%、女性：75.9%

本調査の有効発送数 3,989 人に対し、有効回答数 3,033 人で回答率は町全体で 76.0%となっています。男性 76.2%に対し女性 75.9%と女性より男性の方がやや高い回答率でした。

年齢・性別ごとに比較すると、男性の 85 歳以上で回答率が 85%程度と高い結果となっています。

表 2-1 調査の回答状況（年齢層・性別）

		発送数	回答数	回答率
男性	65～69歳	650	490	75.4%
	70～74歳	377	275	72.9%
	75～79歳	323	250	77.4%
	80～84歳	247	187	75.7%
	85～89歳	123	104	84.6%
	90歳以上	37	32	86.5%
	計	1,757	1,338	76.2%
女性	65～69歳	683	506	74.1%
	70～74歳	416	322	77.4%
	75～79歳	434	332	76.5%
	80～84歳	386	296	76.7%
	85～89歳	224	171	76.3%
	90歳以上	89	68	76.4%
	計	2,232	1,695	75.9%
町全体	65～69歳	1,333	996	74.7%
	70～74歳	793	597	75.3%
	75～79歳	757	582	76.9%
	80～84歳	633	483	76.3%
	85～89歳	347	275	79.3%
	90歳以上	126	100	79.4%
	計	3,989	3,033	76.0%

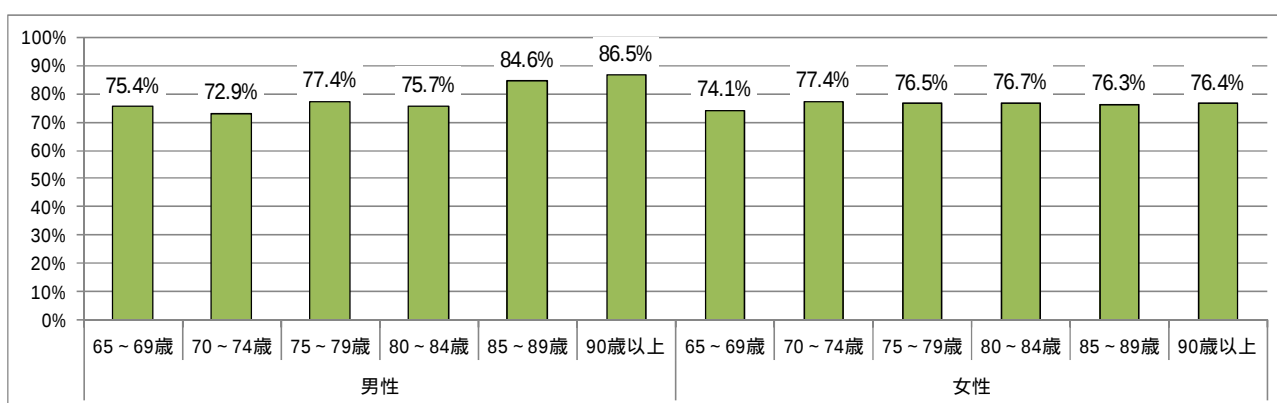


図 2-1 調査の回答率（年齢層・性別）

地区別に調査の回答状況についてみると、小牛田・北浦・中埜地区が77.7%で回答率は最も高く、南郷地区が73.3%で最も低い回答率となっています。

表 2-2 調査の回答状況（地区別）

		発送数	回答数	回答率
地区別	小牛田・北浦・中埜	1797	1397	77.7%
	不動堂・青生	1192	903	75.8%
	南郷	1000	733	73.3%

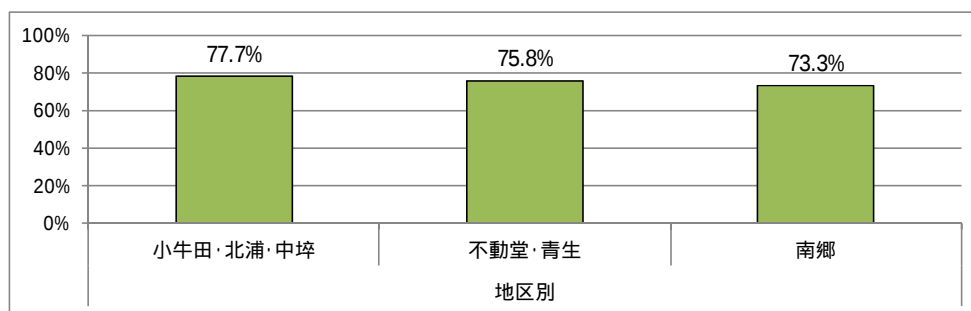


図 2-2 調査の回答率（地区別）

【小牛田・北浦・中埜地区】

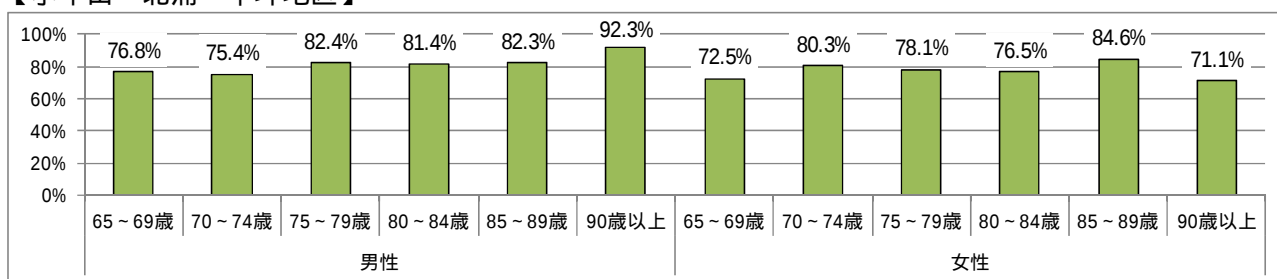


図 2-3 小牛田・北浦・中埜地区の調査回答率（年齢層・性別）

【不動堂・青生地区】

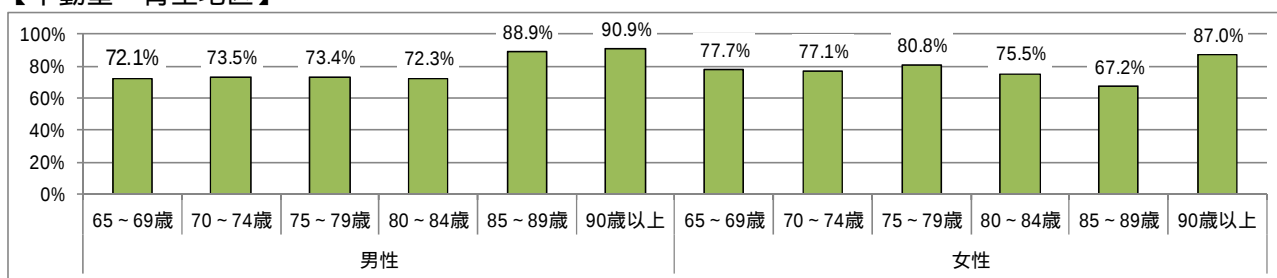


図 2-4 不動堂・青生地区の調査回答率（年齢層・性別）

【南郷地区】

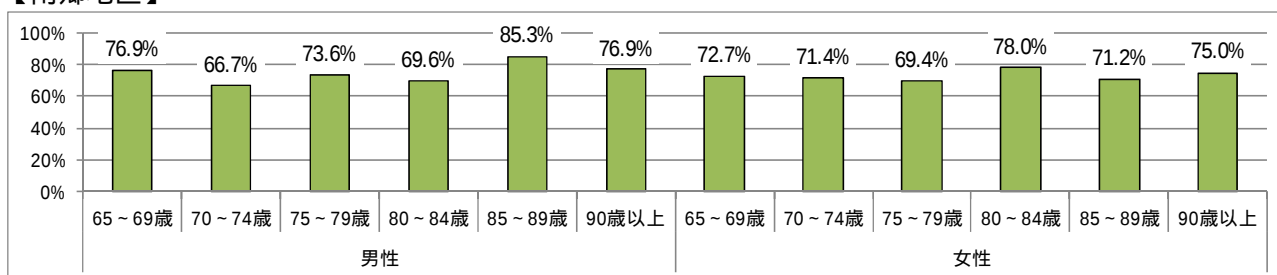


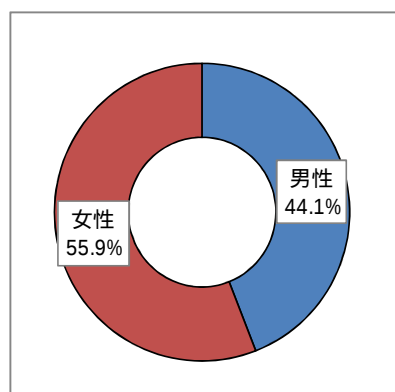
図 2-5 南郷地区の調査回答率（年齢層・性別）

回答者の属性

回答者の性別、年齢層、居住地区および回答者の世帯構成は以下の通りでした。

図表 1 回答者の性別

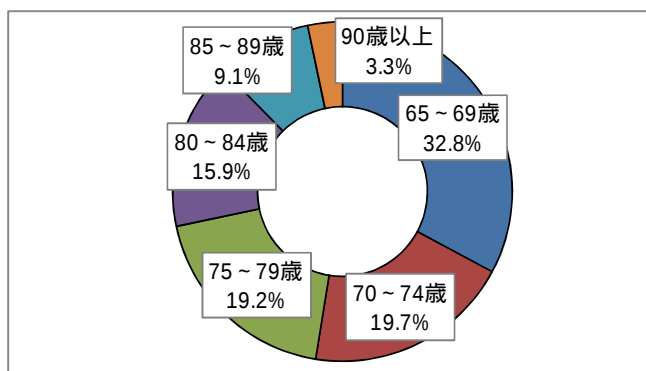
	回答数	割合
男性	1,338	44.1%
女性	1,695	55.9%
全体	3,033	100.0%



回答者の性別内訳は、男性 44.1%に対し、女性 55.9%と女性の占める割合が高くなっています。

図表 2 回答者の年齢

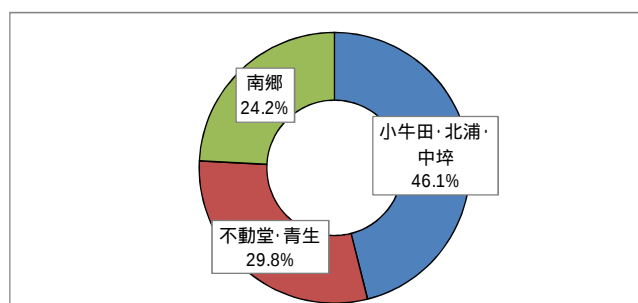
	回答数	割合
65～69歳	996	32.8%
70～74歳	597	19.7%
75～79歳	582	19.2%
80～84歳	483	15.9%
85～89歳	275	9.1%
90歳以上	100	3.3%
全体	3,033	100.0%



回答者の年齢内訳は、65～69歳が 32.8%で最も高く、次いで 70～74歳で 19.7%となっており、前期高齢者の占める割合が 52.5%と半数を上回っています。

図表 3 回答者の居住地区

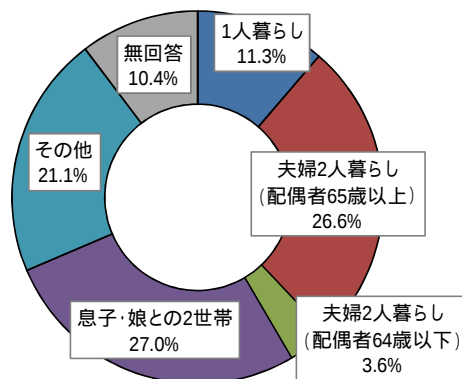
	回答数	割合
小牛田・北浦・中埜	1,397	46.1%
不動堂・青生	903	29.8%
南郷	733	24.2%
全体	3,033	100.0%



回答者の居住地区内訳は、小牛田・北浦・中埜地区で 46.1%と半数近くを占めています。その他、不動堂・青生地区が 29.8%、南郷地区が 24.2%となっています。

図表 4 回答者の世帯構成

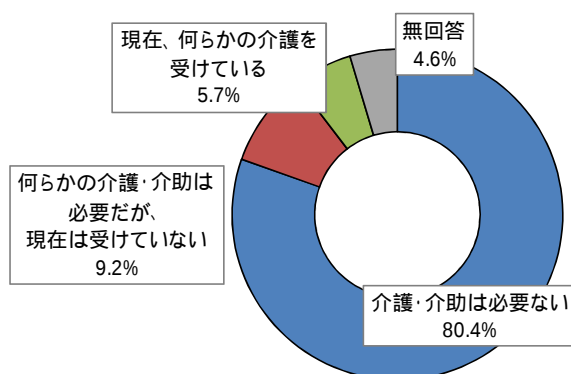
	回答数	割合
1人暮らし	344	11.3%
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	806	26.6%
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	110	3.6%
息子・娘との2世帯	820	27.0%
その他	639	21.1%
無回答	314	10.4%
全体	3,033	100.0%



回答者の世帯構成内訳をみると、「息子・娘との2世帯」が27.0%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし（65歳以上高齢者世帯）」が26.6%となっています。また、「1人暮らし」は11.3%となっています。

図表 5 回答者の介護・介助の必要性

	回答数	割合
介護・介助は必要ない	2,439	80.4%
何らかの介護・介助は必要だが、 現在は受けていない	279	9.2%
現在、何らかの介護を受けている	174	5.7%
無回答	141	4.6%
全体	3,033	100.0%

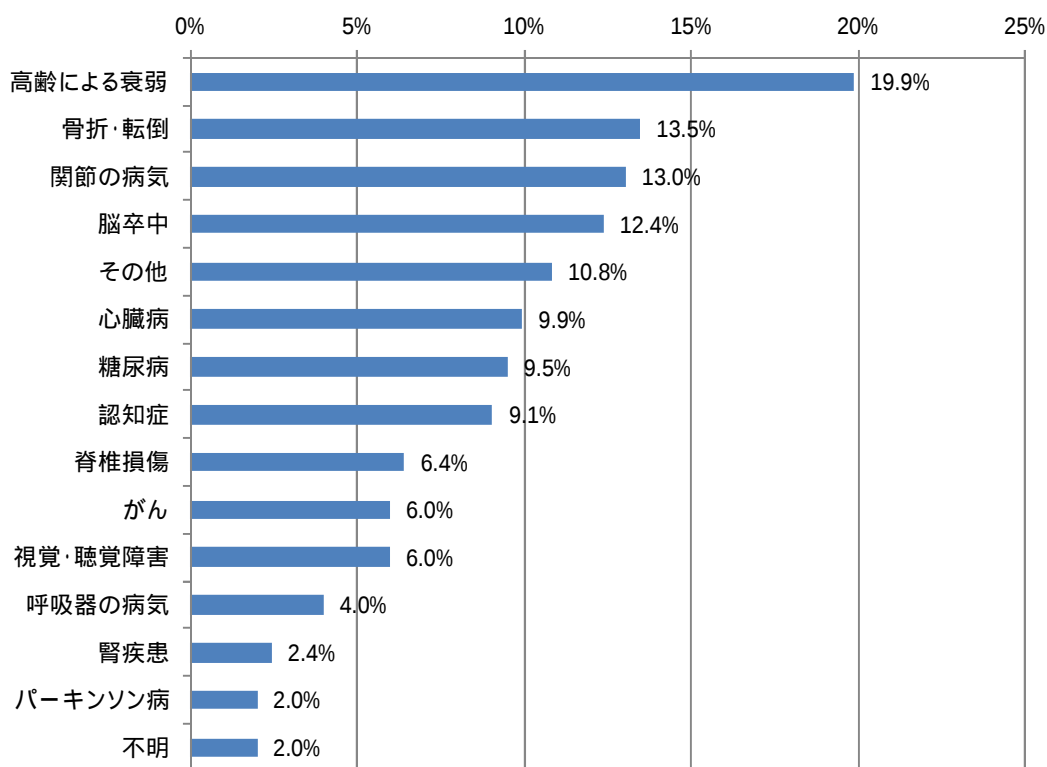


介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」と回答した者の割合は80.4%と多数を占める一方、「現在、何らかの介護を受けている」が5.7%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が9.2%と介護の必要性がある者の割合は14.9%となっています。

図表 6 介護が必要となった要因

有効回答数 N=453

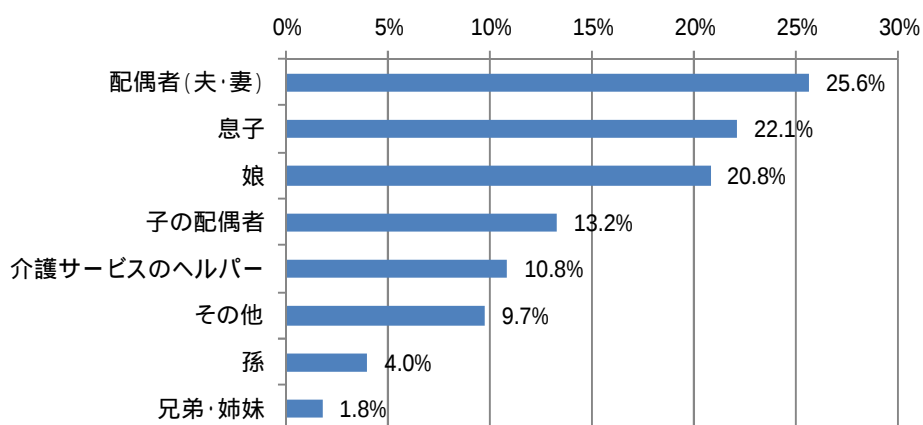
	回答数	割合
脳卒中	56	12.4%
心臓病	45	9.9%
がん	27	6.0%
呼吸器の病気	18	4.0%
関節の病気	59	13.0%
認知症	41	9.1%
パーキンソン病	9	2.0%
糖尿病	43	9.5%
腎疾患	11	2.4%
視覚・聴覚障害	27	6.0%
骨折・転倒	61	13.5%
脊椎損傷	29	6.4%
高齢による衰弱	90	19.9%
その他	49	10.8%
不明	9	2.0%
無回答	102	22.5%



介護を必要としている者 453 名のうち、介護が必要になった理由についてみると、「高齢による衰弱」が 19.9%で最も高く、「骨折・転倒」が 13.5%、「関節の病気」が 13.0%、「脳卒中」が 12.4%と続いています。

図表 7 主な介護者

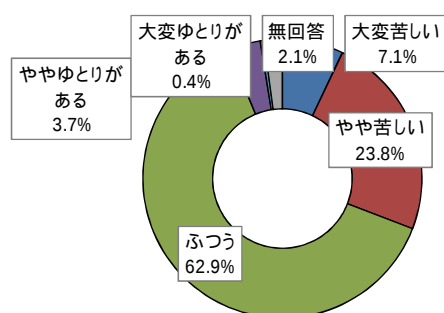
有効回答数 N=453		
	回答数	割合
配偶者(夫・妻)	116	25.6%
息子	100	22.1%
娘	94	20.8%
子の配偶者	60	13.2%
孫	18	4.0%
兄弟・姉妹	8	1.8%
介護サービスのヘルパー	49	10.8%
その他	44	9.7%
無回答	107	23.6%



介護が必要と回答した者のうち、主な介護者として、「配偶者」が25.6%で最も高く、次いで「息子」が22.1%、「娘」が20.8%、「子の配偶者」が13.2%と続いています。

図表 8 主観的経済感

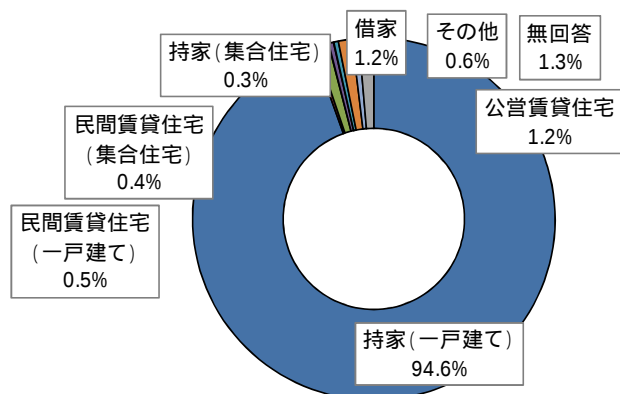
	回答数	割合
大変苦しい	215	7.1%
やや苦しい	721	23.8%
ふつう	1,907	62.9%
ややゆとりがある	113	3.7%
大変ゆとりがある	13	0.4%
無回答	64	2.1%
全体	3,033	100.0%



主観的経済感についてみると、「ふつう」と回答した者が62.9%で最も高く、「やや苦しい」が23.8%、「大変苦しい」が7.1%と経済的に苦しいと感じている者の割合が30.9%に対し、ゆとりがあると感じている者は4.1%となっています。

表 2-3 回答者の居住形態

有効回答数 N=3,033		
	回答数	割合
持家(一戸建て)	2,868	94.6%
持家(集合住宅)	8	0.3%
公営賃貸住宅	35	1.2%
民間賃貸住宅 (一戸建て)	14	0.5%
民間賃貸住宅 (集合住宅)	13	0.4%
借家	37	1.2%
その他	18	0.6%
無回答	40	1.3%
全体	3,033	100.0%



回答者の居住形態についてみると、「持家(一戸建て)」が94.6%で大多数を占めています。次いで「借家」および「公営賃貸住宅」が1.2%となっています。

運動機能

■ 運動器・転倒に関する設問

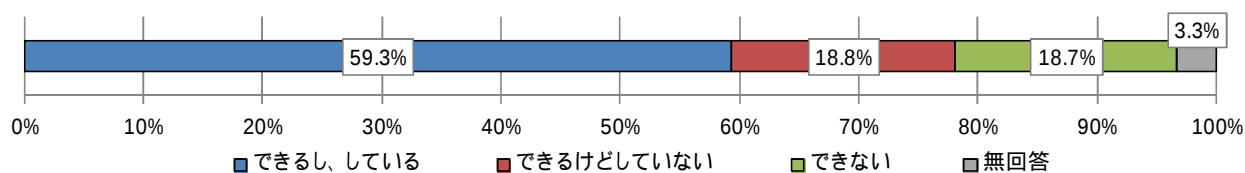


図 2-6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか【問2(1)】

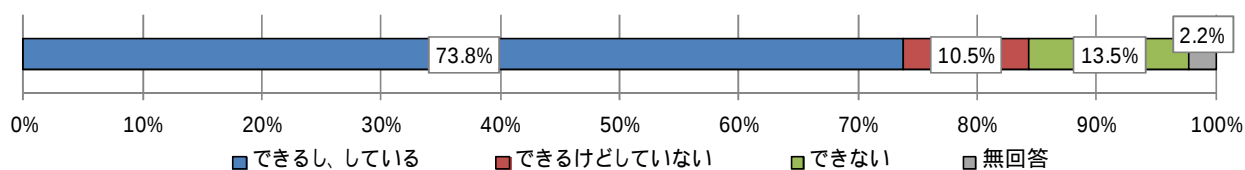


図 2-7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか【問2(2)】

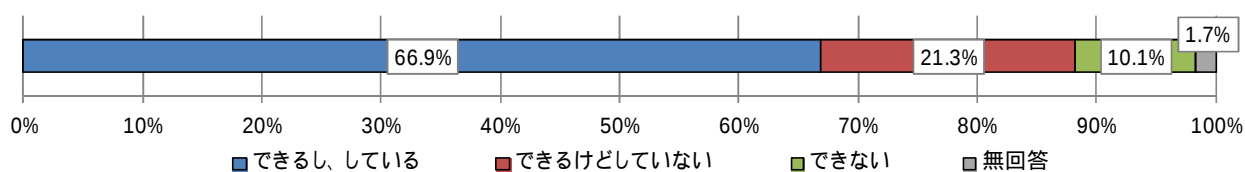


図 2-8 15分位続けて歩いていますか【問2(3)】

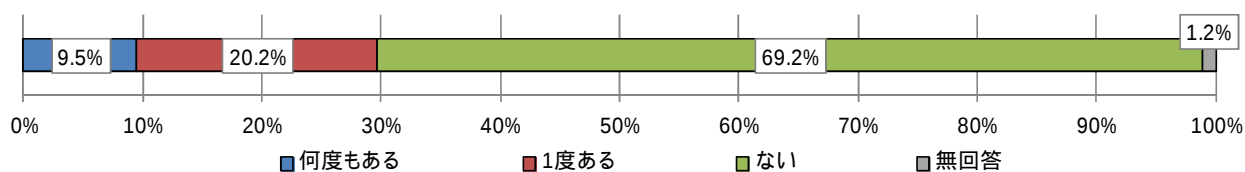


図 2-9 過去1年間に転んだ経験がありますか【問2(4)】

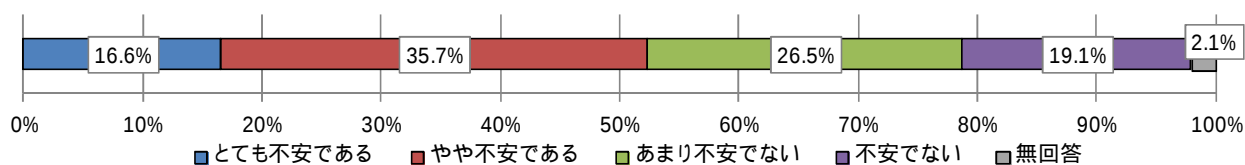
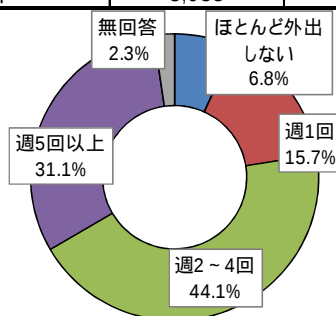


図 2-10 転倒に対する不安は大きいですか【問2(5)】

■ 外出に関する設問

図表 9 外出の頻度【問2（6）】

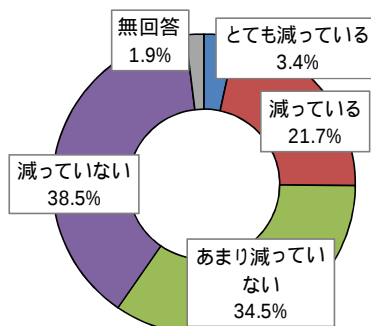
	回答数	割合
ほとんど外出しない	205	6.8%
週1回	476	15.7%
週2～4回	1,339	44.1%
週5回以上	943	31.1%
無回答	70	2.3%
全体	3,033	100.0%



外出の頻度についてみると、「週2～4回」と回答した者の割合が44.1%で半数近くを占めています。次いで、「週5回以上」が31.1%と週に2回以上外出する者の割合は75.2%となっています。一方、「週1回」が15.7%、「ほとんど外出しない」が6.8%で外出頻度が低い者の割合は22.5%となっています。

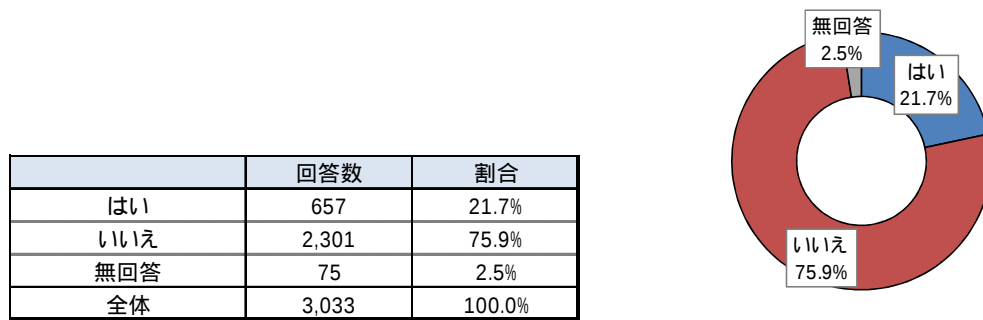
図表 10 昨年と比較した外出の頻度【問2（7）】

	回答数	割合
とても減っている	104	3.4%
減っている	659	21.7%
あまり減っていない	1,045	34.5%
減っていない	1,167	38.5%
無回答	58	1.9%
全体	3,033	100.0%



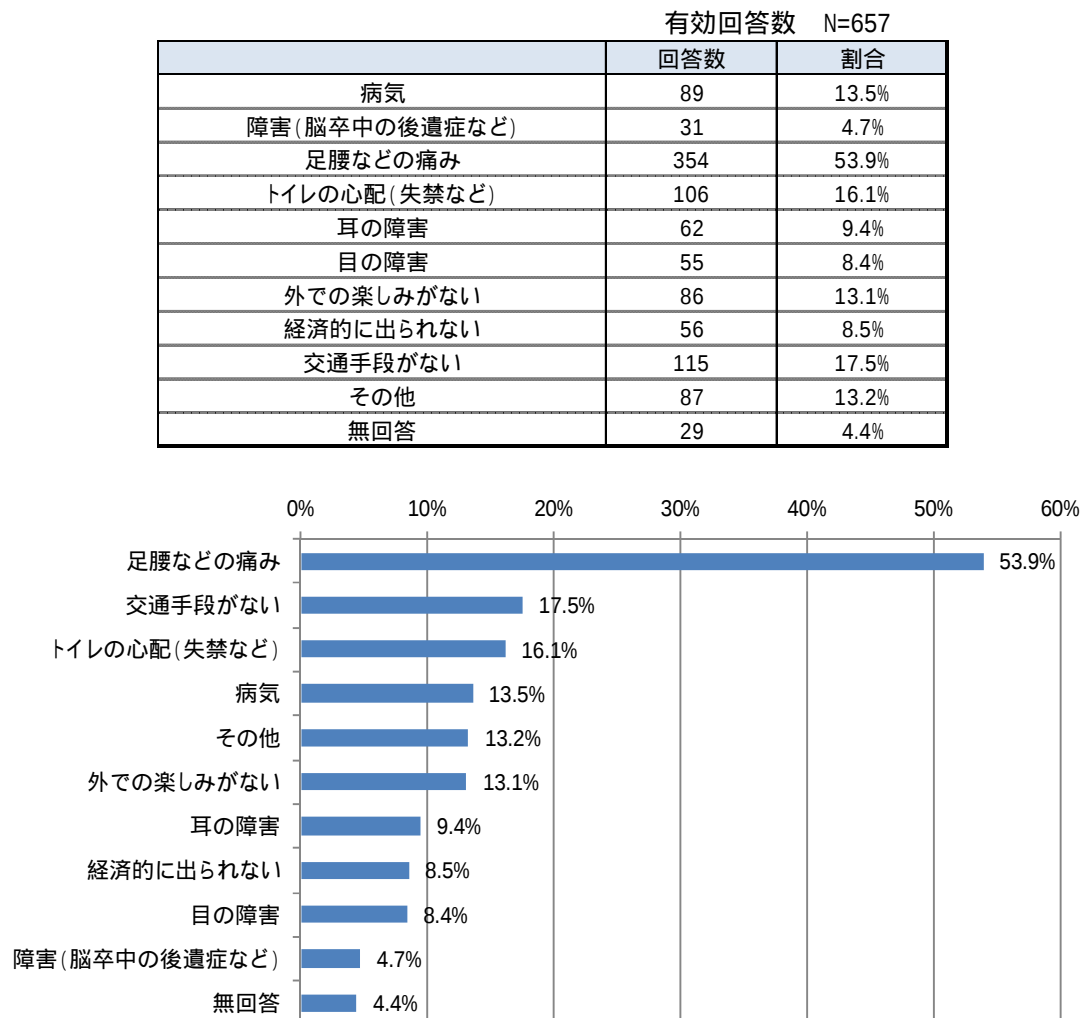
昨年と比較した外出の頻度について、「減っていない」と回答した者が38.5%、「あまり減っていない」が34.5%で合わせて73.0%となっています。一方で、「減っている」が21.7%、「とても減っている」が3.4%と外出頻度が昨年と比べて減少していると回答した者は25.1%となっています。

図表 11 外出を控えていますか【問2(8)】



外出を控えていると回答した者の割合は21.7%となっています。

図表 12 外出を控えている理由【問2(8)】

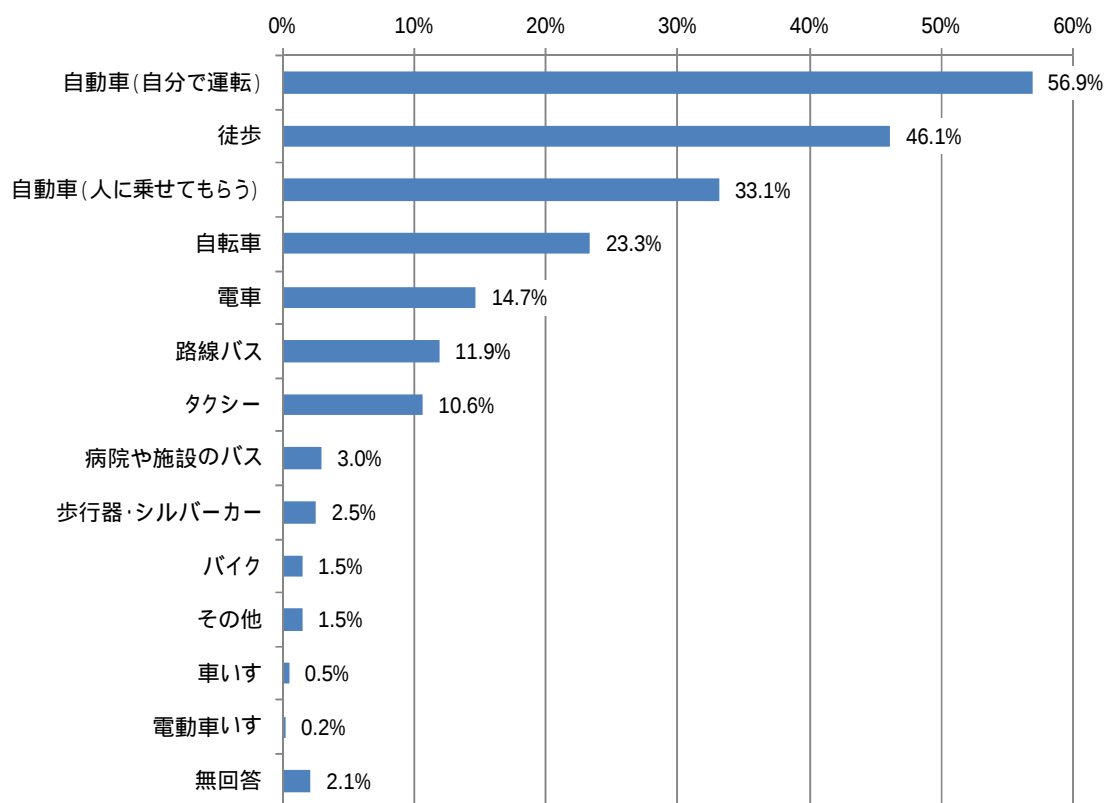


外出を控えていると回答した者 657 名のうち、外出しない理由についてみると、「足腰などの痛み」が 53.9%で半数以上を占めています。次いで、「交通手段がない」が 17.5%、「トイレの心配」が 16.1%と続いています。

図表 13 外出する際の移動手段【問2（9）】

有効回答数 N=3,033

	回答数	割合
徒歩	1,399	46.1%
自転車	708	23.3%
バイク	46	1.5%
自動車(自分で運転)	1,725	56.9%
自動車(人に乗せてもらう)	1,005	33.1%
電車	445	14.7%
路線バス	361	11.9%
病院や施設のバス	90	3.0%
車いす	15	0.5%
電動車いす	7	0.2%
歩行器・シルバーカー	77	2.5%
タクシー	323	10.6%
その他	46	1.5%
無回答	65	2.1%



外出をする際の移動手段として、「自動車（自分で運転）」と回答した者が 56.9%と半数を超え、最も高い結果となっています。次いで「徒歩」が 46.1%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 33.1%と続いています。一方、外出における公共交通機関の利用に関しては、「電車」が 14.7%で最も高く、「路線バス」が 11.9%、「タクシー」が 10.6%と続いています。

栄養状態・口腔機能

■ 栄養状態に関する設問

図表 14 栄養状態（BMI）【問3（1）】

	回答数	割合
低栄養	138	4.5%
標準	1,869	61.6%
肥満	851	28.1%
判定不可	175	5.8%
全体	3,033	100.0%

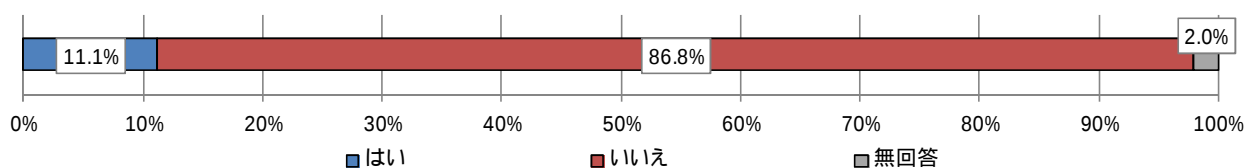
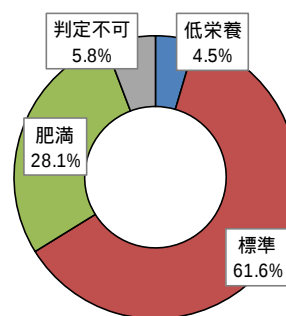


図 2-11 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか【問3（7）】

■ 口腔機能に関する設問

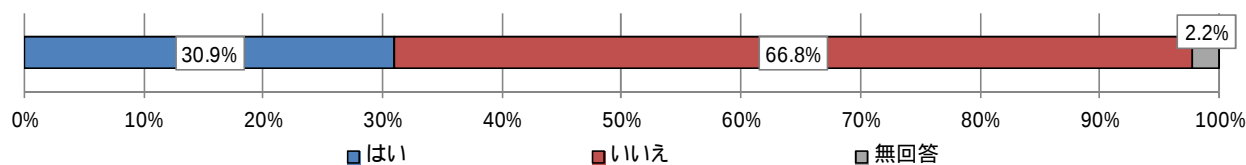


図 2-12 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか【問3（2）】

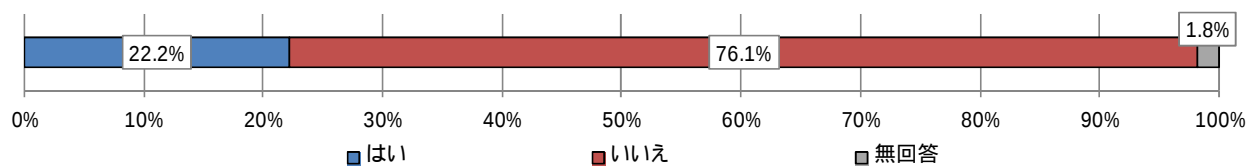


図 2-13 お茶や汁物等でむせることがありますか【問3（3）】

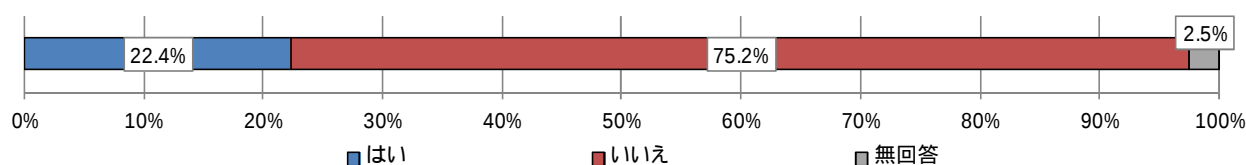


図 2-14 口の渇きが気になりますか【問3（4）】

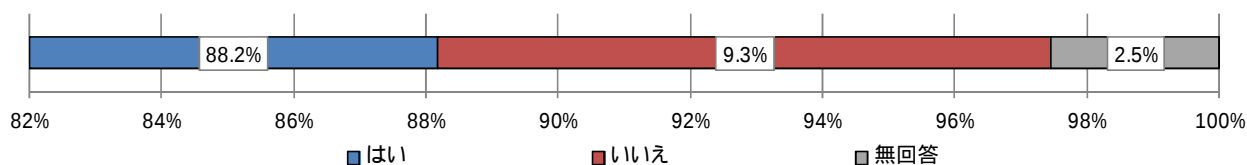


図 2-15 歯磨きを毎日していますか【問3(5)】

図表 15 歯の数と入れ歯の利用状況【問3(6)】

	回答数	割合
自分の歯20本以上、かつ入れ歯を利用	393	13.0%
自分の歯20本以上、入れ歯の利用なし	853	28.1%
自分の歯19本以下、かつ入れ歯を利用	1,232	40.6%
自分の歯19本以下、入れ歯の利用なし	332	10.9%
無回答	223	7.4%
全体	3,033	100.0%

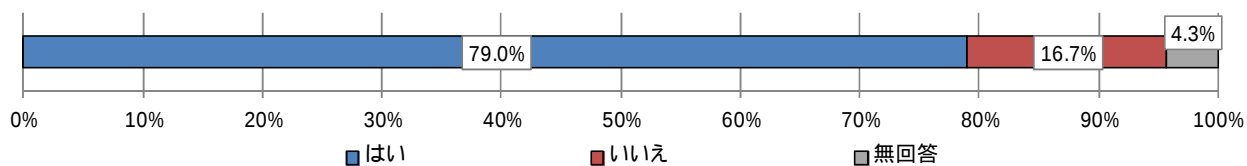
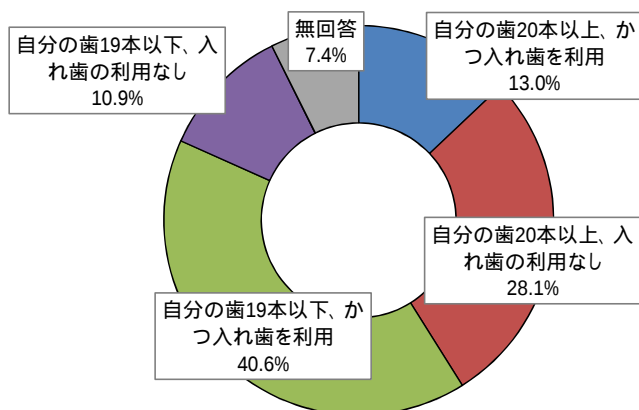


図 2-16 噛み合わせは良いですか【問3(6)】

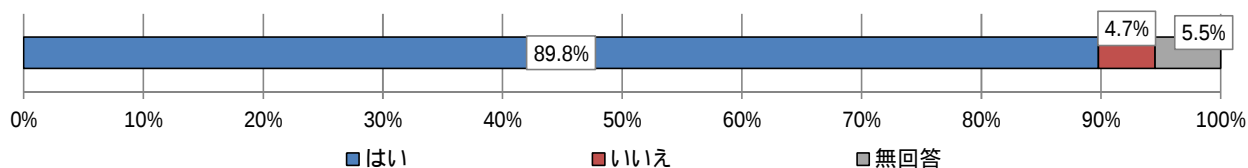
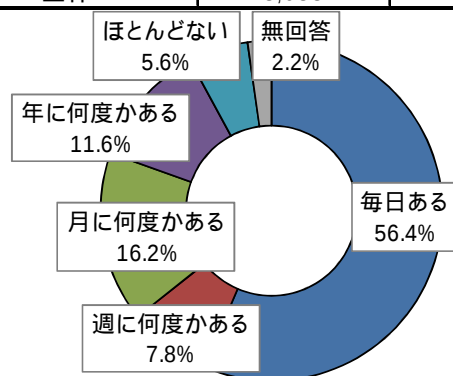


図 2-17 毎日入れ歯の手入れをしていますか【問3(6)】

図表 16 どなたかと食事をともしする機会がありますか【問3（8）】

	回答数	割合
毎日ある	1,712	56.4%
週に何度かある	238	7.8%
月に何度かある	491	16.2%
年に何度かある	353	11.6%
ほとんどない	171	5.6%
無回答	68	2.2%
全体	3,033	100.0%



毎日の生活について

■ 物忘れに関する設問

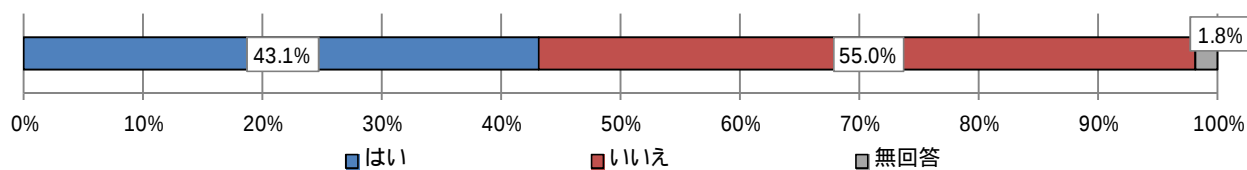


図 2-18 物忘れが多いと感じますか【問4(1)】

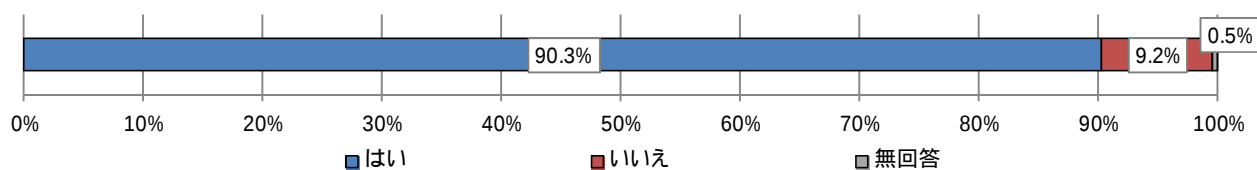


図 2-19 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか【問4(2)】

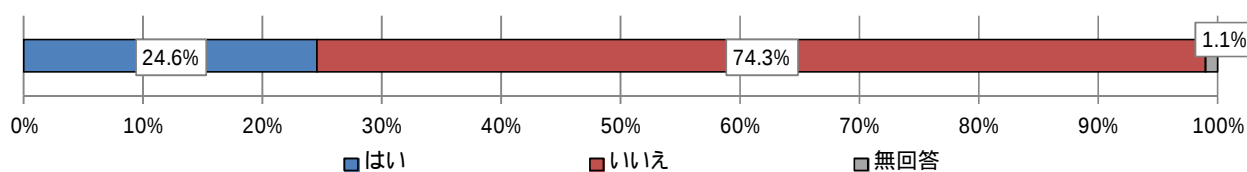


図 2-20 今日が何月何日かわからない時がありますか【問4(3)】

■ 日常生活動作に関する設問

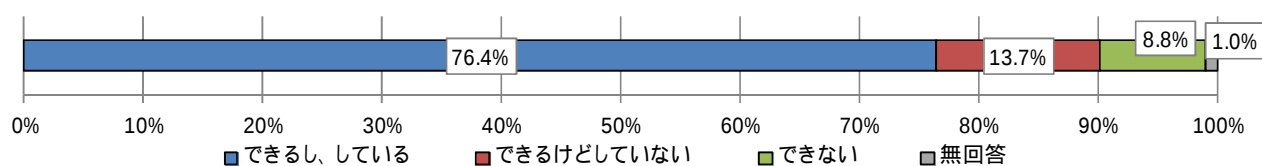


図 2-21 バスや電車を使って1人で外出していますか【問4(4)】

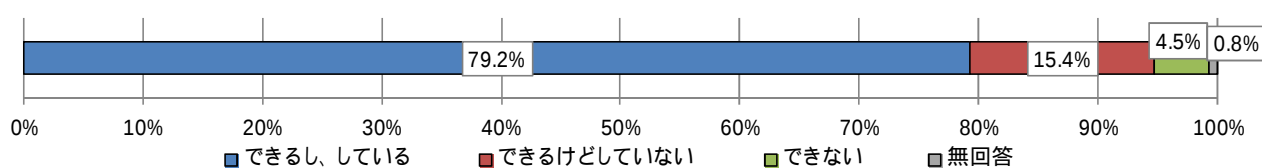


図 2-22 自分で食品・日用品の買物をしていますか【問4(5)】

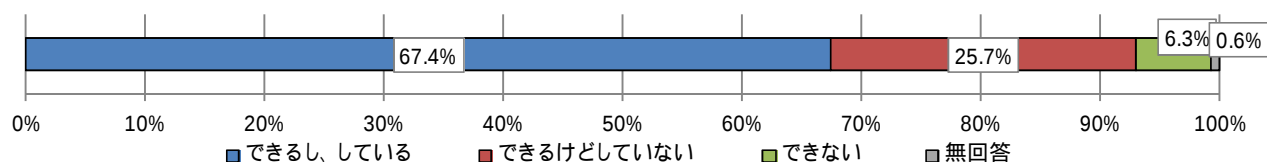


図 2-23 自分で食事の用意をしていますか【問４（６）】

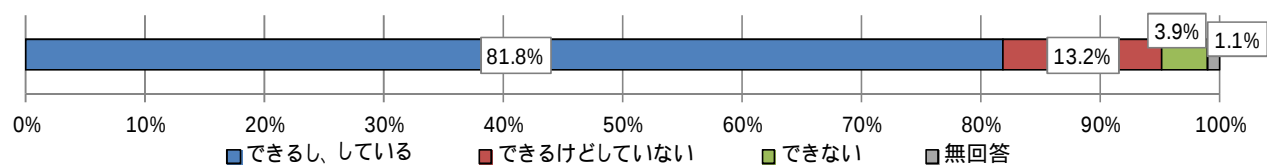


図 2-24 自分で請求書の支払いをしていますか【問４（７）】

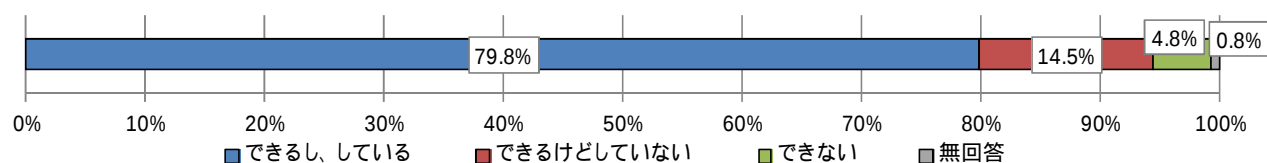


図 2-25 自分で預貯金の出し入れをしていますか【問４（８）】

■ 知的能動性に関する設問

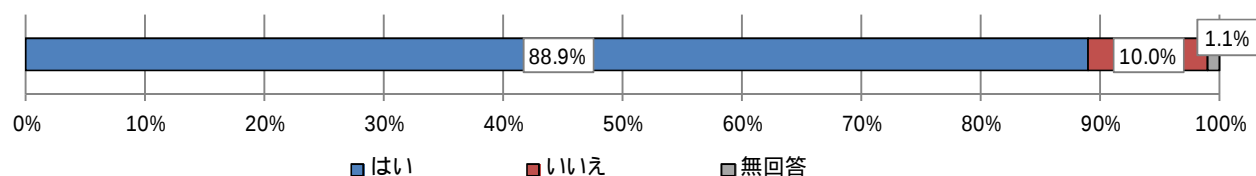


図 2-26 年金などの書類が書けますか【問４（９）】

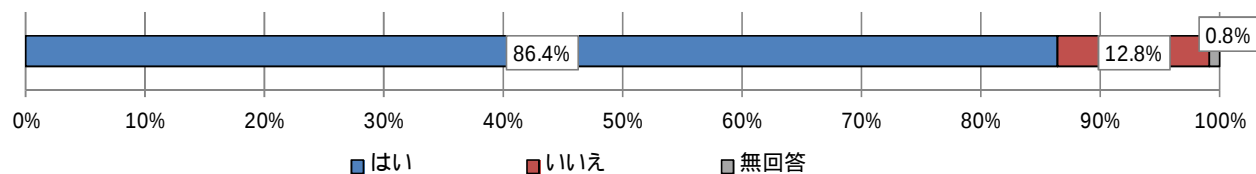


図 2-27 新聞を読んでいますか【問４（１０）】

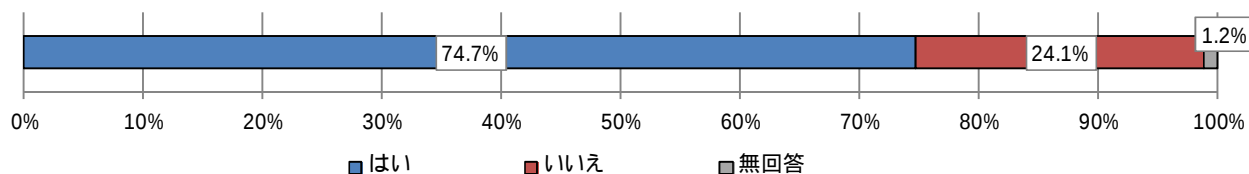


図 2-28 本や雑誌を読んでいますか【問4（11）】

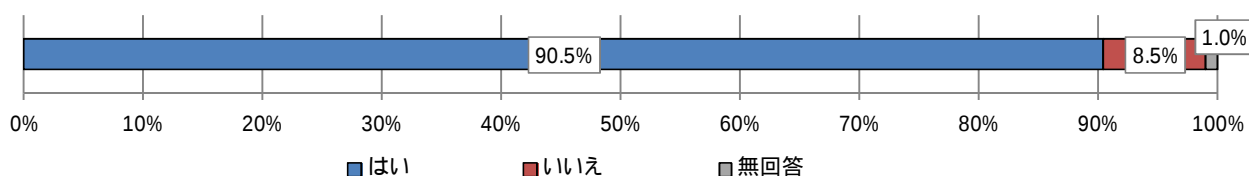


図 2-29 健康についての記事や番組に関心がありますか【問4（12）】

■ 社会的役割に関する設問

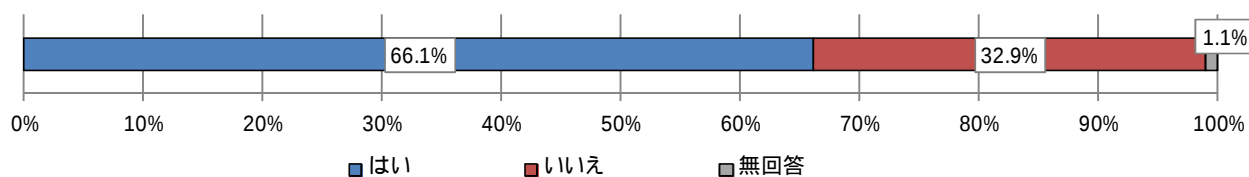


図 2-30 友人の家を訪ねていますか【問4（13）】

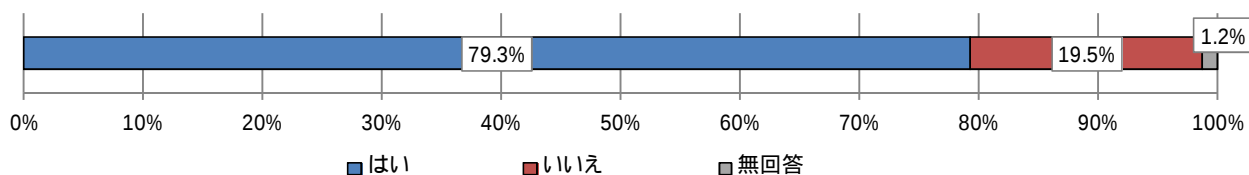


図 2-31 家族や友人の相談に乗っていますか【問4（14）】

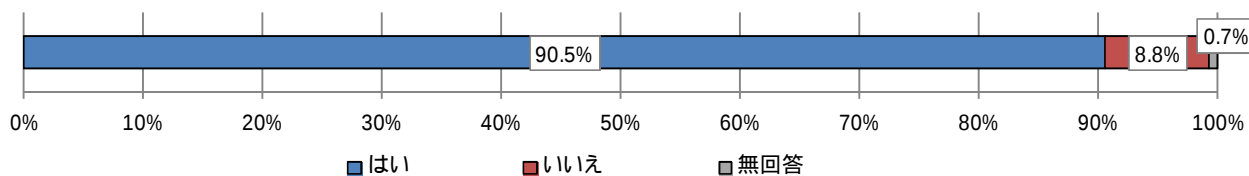


図 2-32 病人を見舞うことができますか【問4（15）】

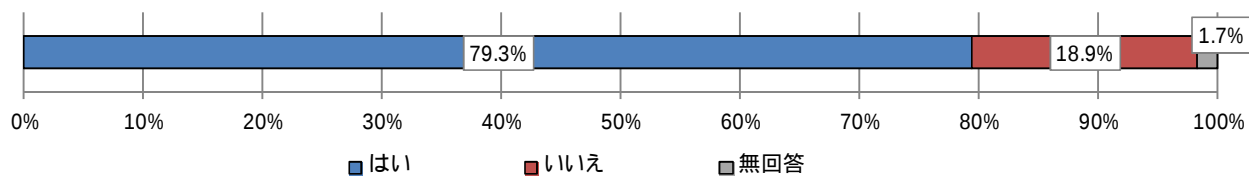
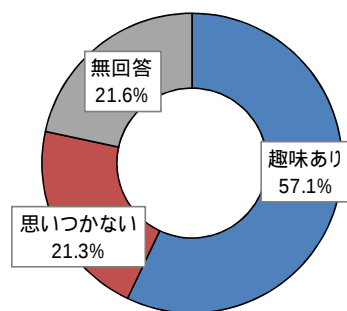


図 2-33 若い人に自分から話しかけることがありますか【問4(16)】

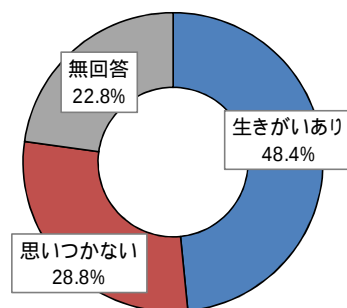
図表 17 趣味はありますか【問4(17)】

	回答数	割合
趣味あり	1,731	57.1%
思いつかない	647	21.3%
無回答	655	21.6%
全体	3,033	100.0%



図表 18 生きがいがありますか【問4(18)】

	回答数	割合
生きがいあり	1,469	48.4%
思いつかない	873	28.8%
無回答	691	22.8%
全体	3,033	100.0%



地域での活動について

図表 19 地域での活動頻度【問5（1）】

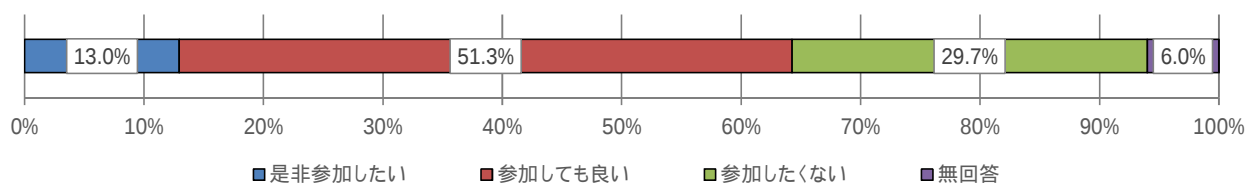
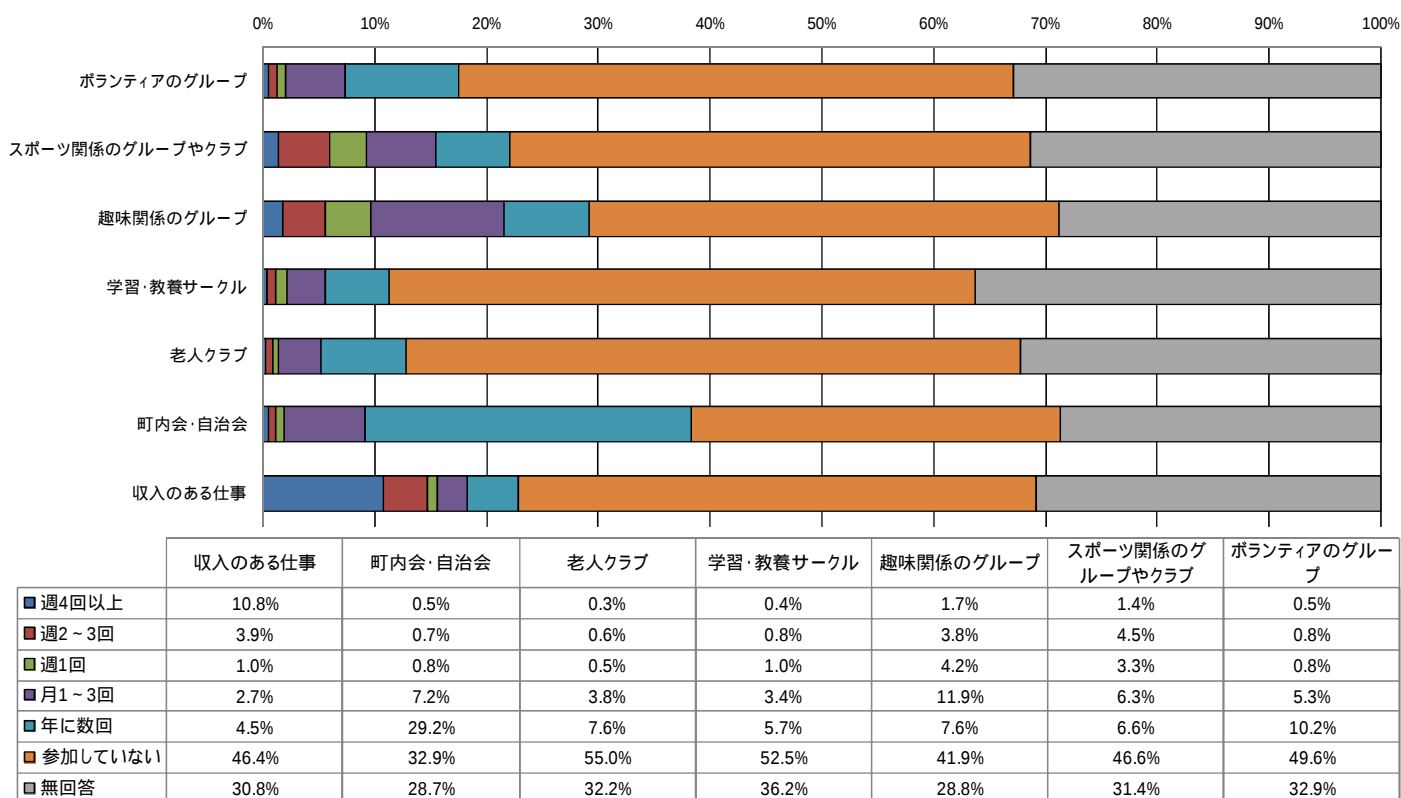


図 2-34 健康づくり活動や趣味等のグループ活動の参加意向【問5（2）】

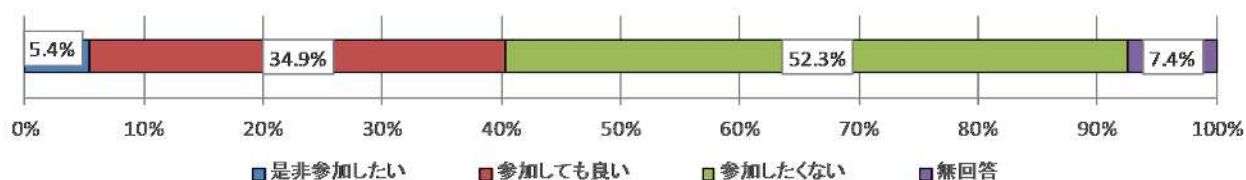


図 2-35 健康づくり活動や趣味等のグループ活動の企画・運営参加意向【問5（3）】

たすけあいについて

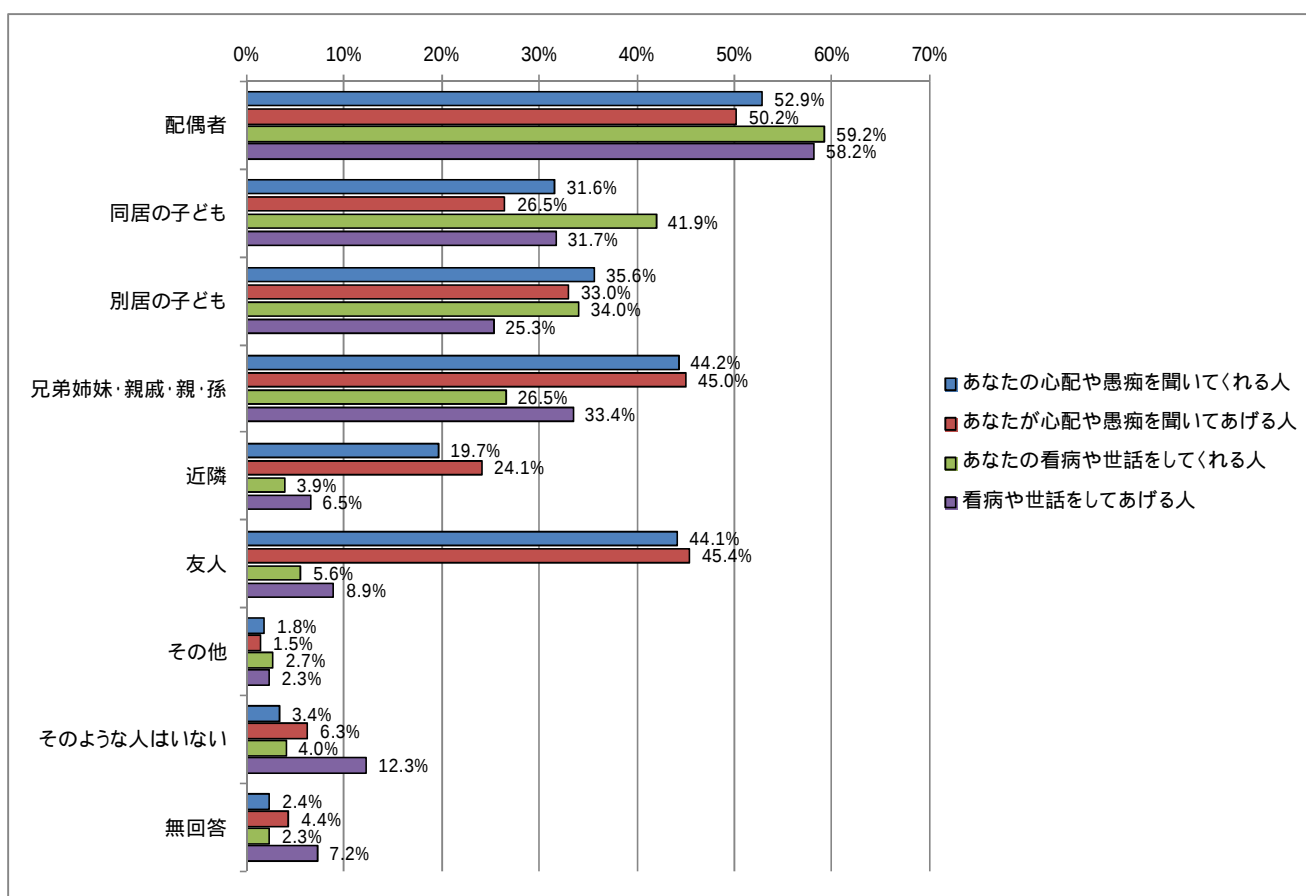
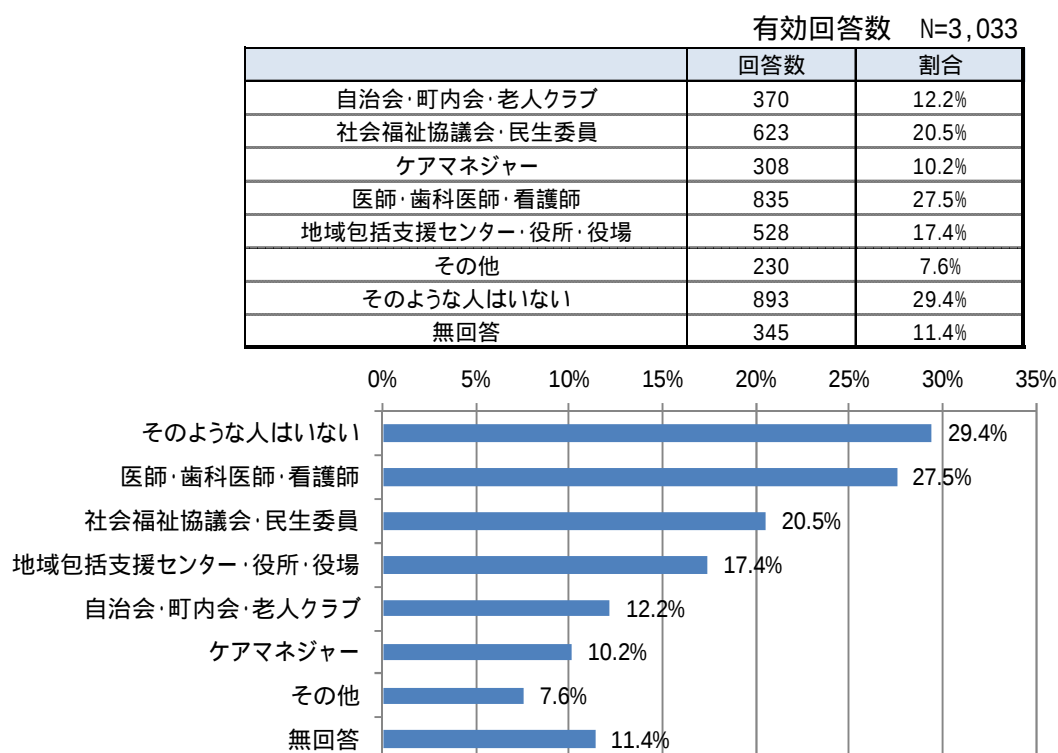


図 2-36 人とのかかわり状況について【問6】

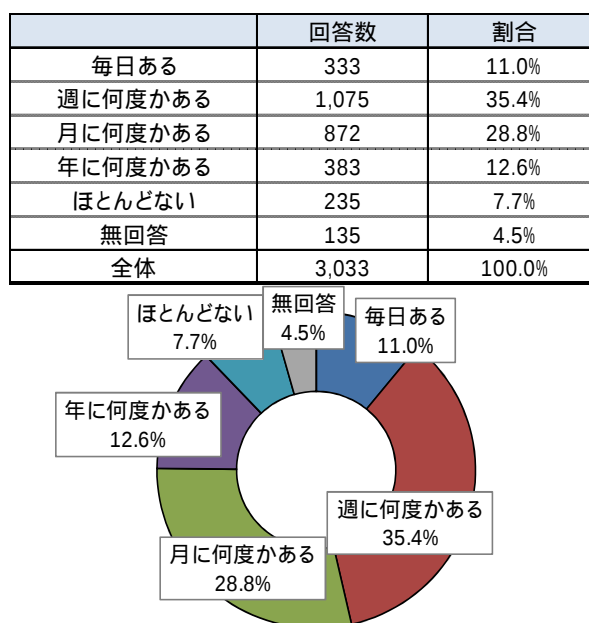
心配や愚痴を聞いてくれる、または聞いてあげる相手として、「配偶者」が半数と最も高い結果となっています。次いで、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」と回答した者の割合が45%程度と高い結果となっています。看病や世話をしてくれる、あげる相手として、「配偶者」が6割近くを占め最も高い結果となっています。「子ども」とのかかわりについてみると、「同居の子ども」は『看病や世話をしてくれる人』と回答した者の割合が41.9%と他のかかわり方と比べて高い結果となっています。「近隣」とのかかわりについては、『心配や愚痴を聞いてくれる人』の割合が19.7%、『聞いてあげる人』の割合が24.1%となっている一方、『看病や世話をしてくれる・あげる人』の割合は1割未満という結果となっています。

図表 20 友人・知人以外での相談相手【問6（5）】



友人・知人以外での相談相手についてみると、「そのような人はいない」と回答した者が29.4%と最も高い結果となっています。次いで、「医師・歯科医師・看護師」が27.5%、「社会福祉協議会・民生委員」が20.5%と続いています。

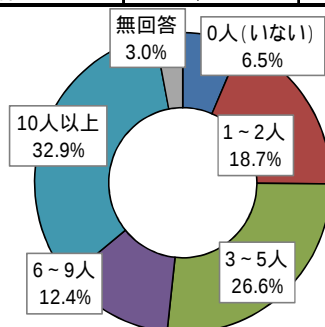
図表 21 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか【問6（6）】



友人・知人と会う頻度について、「週に何度かある」と回答した者が35.4%で最も高く、「月に何度かある」が28.8%、「毎日ある」が11.0%と月に数回以上の頻度で友人知人と会うと回答した者の割合は、75.2%となっています。一方、「ほとんどない」と回答した者は7.7%となっています。

図表 22 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか【問6（7）】

	回答数	割合
0人(いない)	196	6.5%
1～2人	566	18.7%
3～5人	806	26.6%
6～9人	376	12.4%
10人以上	997	32.9%
無回答	92	3.0%
全体	3,033	100.0%

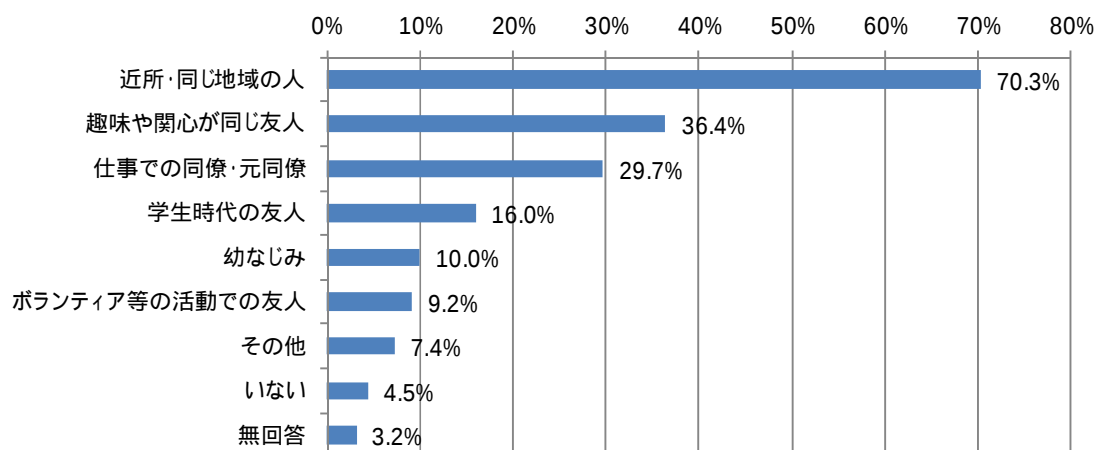


この1か月間で友人・知人に会った人の数についてみると、「10人以上」と回答した者の割合が32.9%で最も高く、次いで「3～5人」が26.6%、「1～2人」が18.7%、となっています。一方、「0人(いない)」と回答した者の割合は6.5%となっています。

図表 23 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか【問6（8）】

有効回答数 N=3,033

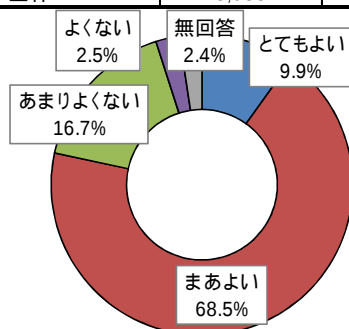
	回答数	割合
近所・同じ地域の人	2,132	70.3%
幼なじみ	302	10.0%
学生時代の友人	484	16.0%
仕事での同僚・元同僚	901	29.7%
趣味や関心が同じ友人	1,105	36.4%
ボランティア等の活動での友人	279	9.2%
その他	223	7.4%
いない	135	4.5%
無回答	96	3.2%



よく会う友人・知人の関係性についてみると、「近所・同じ地域の人」が70.3%で多数を占めています。次いで、「趣味や関心が同じ友人」が36.4%、「仕事での同僚・元同僚」が29.7%となっています。また、「ボランティア等の活動での友人」と回答した者は9.2%と一定数いることから、こうした地域活動による交流が有意義であることがうかがえます。

図表 24 主観的健康感【問7（1）】

	回答数	割合
とてもよい	301	9.9%
まあよい	2,077	68.5%
あまりよくない	505	16.7%
よくない	77	2.5%
無回答	73	2.4%
全体	3,033	100.0%



主観的健康感について、「まあよい」と回答した者が68.5%と最も高く、とてもよいを含めた肯定群の割合は78.4%と多数を占めている一方、「あまりよくない」、「よくない」と回答した否定群は19.2%となっています。

■ うつに関する設問

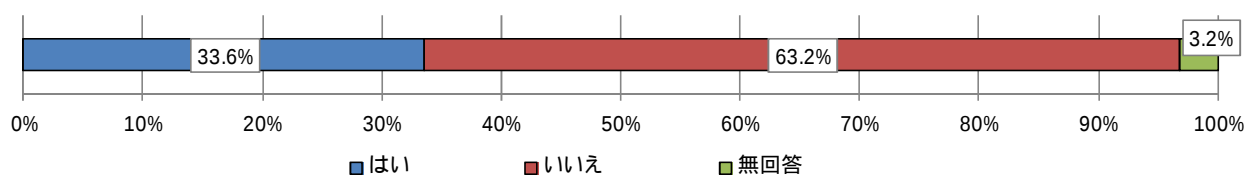


図 2-37 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか【問7（3）】

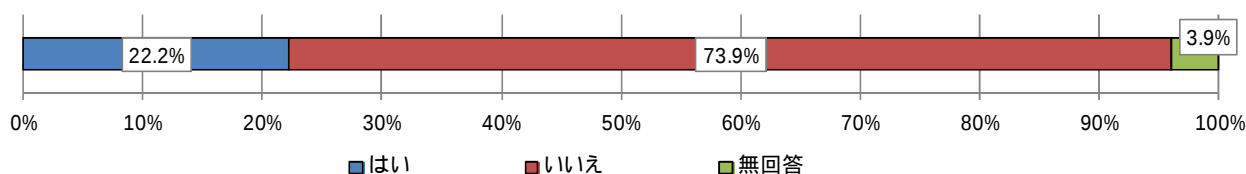
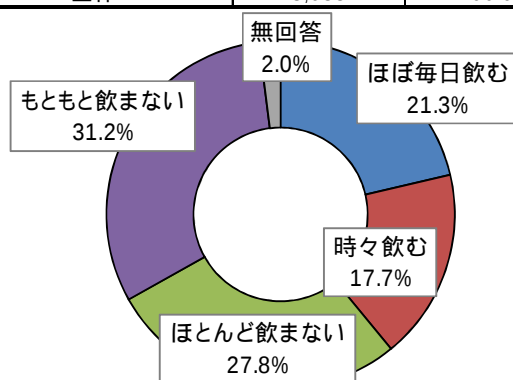


図 2-38 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか【問7（4）】

図表 25 お酒は飲みますか【問7（5）】

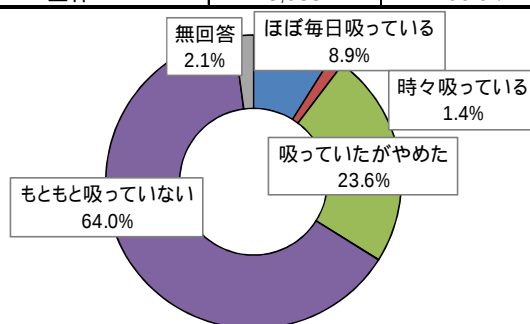
	回答数	割合
ほぼ毎日飲む	647	21.3%
時々飲む	538	17.7%
ほとんど飲まない	843	27.8%
もともと飲まない	945	31.2%
無回答	60	2.0%
全体	3,033	100.0%



飲酒の頻度について、「もともと飲まない」と回答した者の割合は31.2%で最も高く、「ほとんど飲まない」と合わせて6割程度となっています。一方で、「ほぼ毎日飲む」と回答した者は21.3%と「時々飲む」と回答した者の割合よりも高い結果となっています。

図表 26 タバコは吸っていますか【問7（6）】

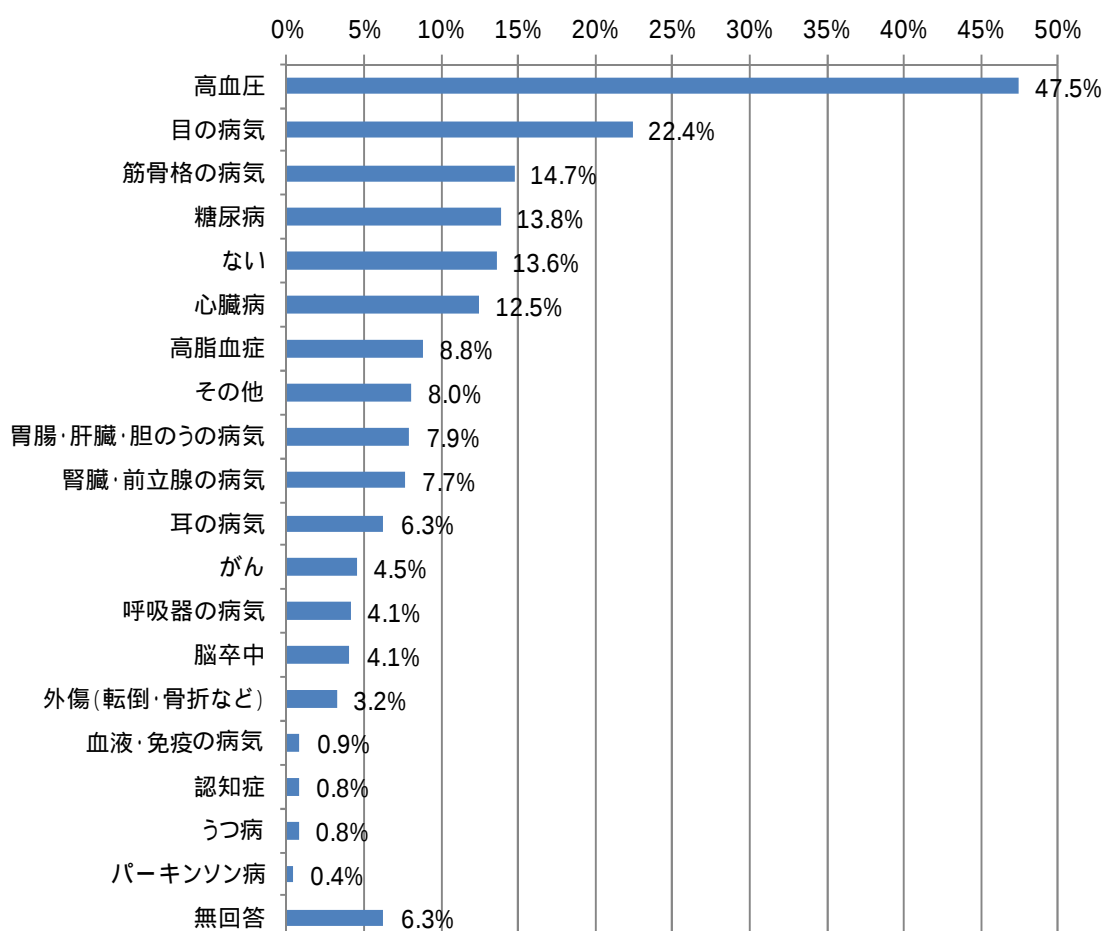
	回答数	割合
ほぼ毎日吸っている	269	8.9%
時々吸っている	43	1.4%
吸っていたがやめた	717	23.6%
もともと吸っていない	1,940	64.0%
無回答	64	2.1%
全体	3,033	100.0%



喫煙状況についてみると、「もともと吸っていない」が64.0%と最も高い結果となっています。また、「吸っていたがやめた」と回答した者は23.6%と健康に気遣う傾向もうかがえます。喫煙する者については、「時々吸っている」が1.4%に対し、「ほぼ毎日吸っている」が8.9%と毎日喫煙する者の割合の方が高い結果となっています。

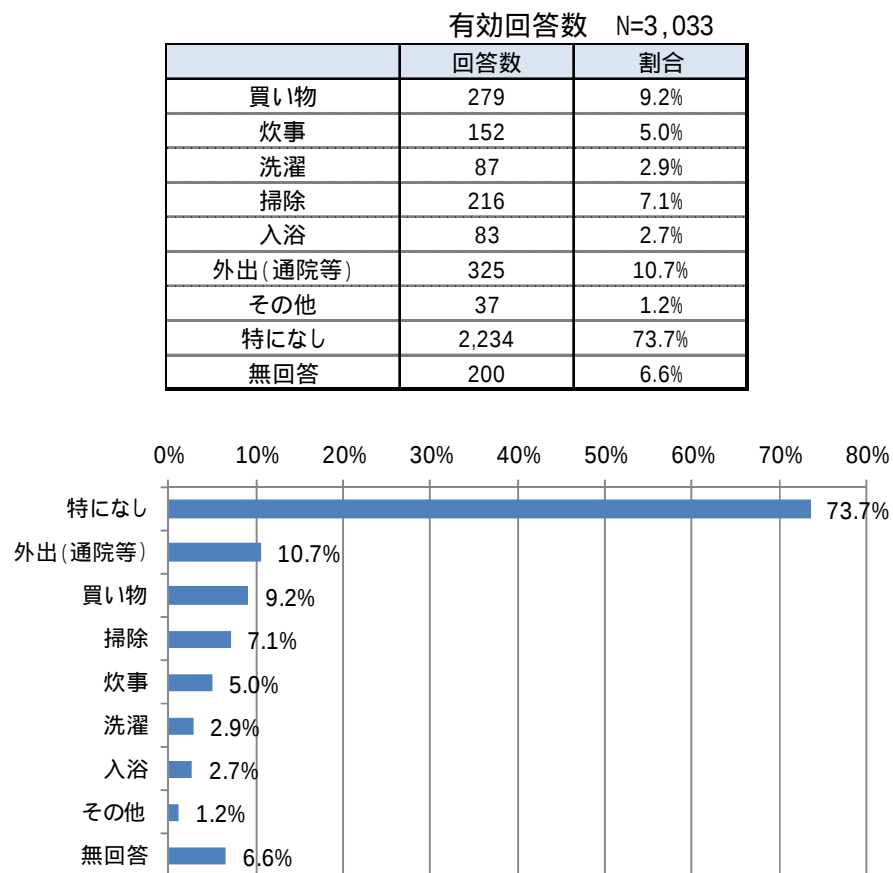
図表 27 現在治療中、または後遺症のある病気【問7（7）】

有効回答数 N=3,033		
	回答数	割合
ない	412	13.6%
高血圧	1,440	47.5%
脳卒中	124	4.1%
心臓病	379	12.5%
糖尿病	420	13.8%
高脂血症	267	8.8%
呼吸器の病気	125	4.1%
胃腸・肝臓・胆のうの病気	241	7.9%
腎臓・前立腺の病気	233	7.7%
筋骨格の病気	447	14.7%
外傷(転倒・骨折など)	97	3.2%
がん	137	4.5%
血液・免疫の病気	26	0.9%
うつ病	23	0.8%
認知症	24	0.8%
パーキンソン病	13	0.4%
目の病気	679	22.4%
耳の病気	191	6.3%
その他	244	8.0%
無回答	191	6.3%



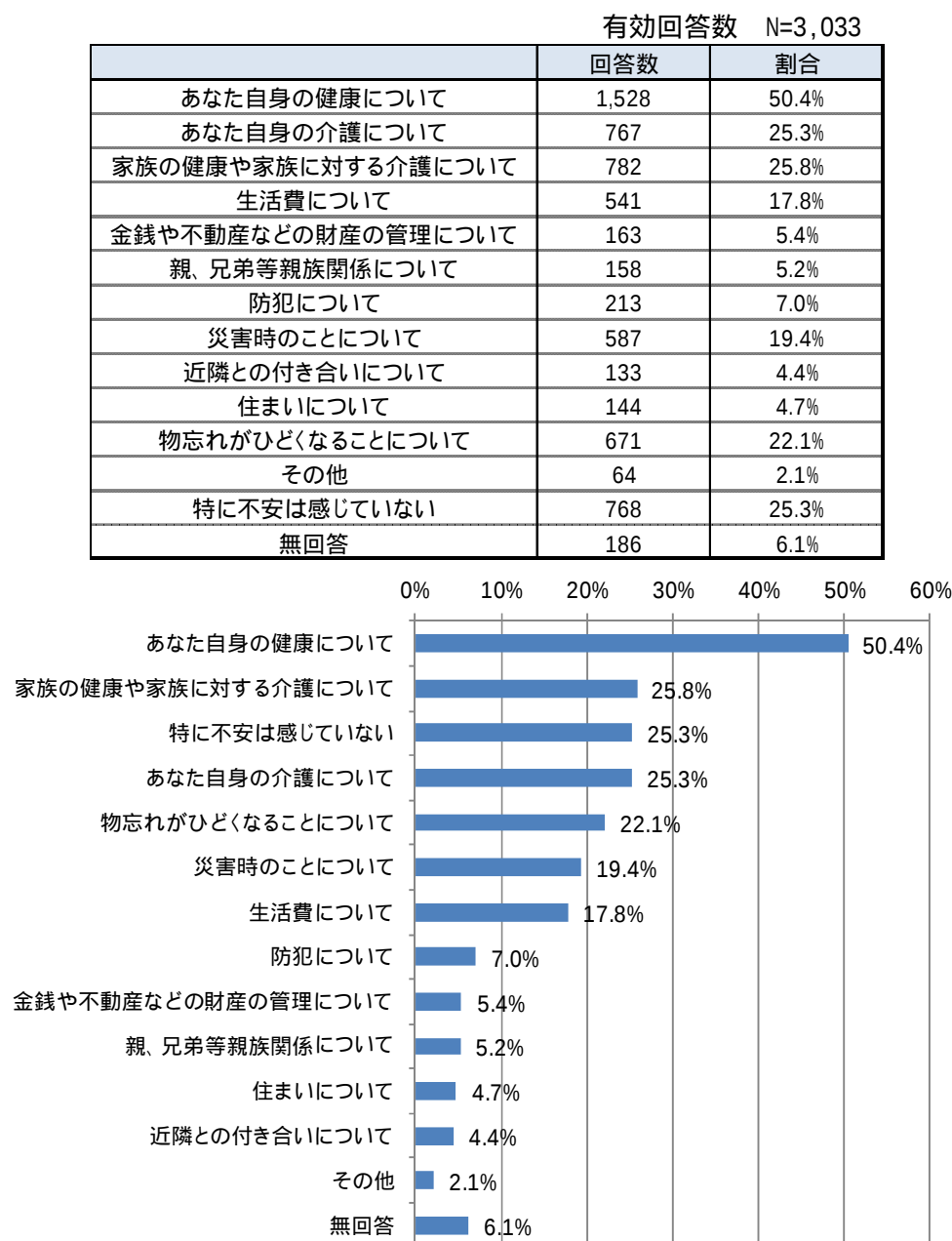
現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が47.5%で半数近くを占め、最も高くなっています。次いで、「目の病気」が22.4%、「筋骨格の病気」が14.7%、「糖尿病」が13.8%と続いています。

図表 28 日常生活で不便を感じていること【問8（1）】



日常生活で不便を感じていることとして、「特になし」と回答した者が73.7%で多数を占めています。一方で、「外出」が10.7%、「買い物」が9.2%、「掃除」が7.1%と続いています。

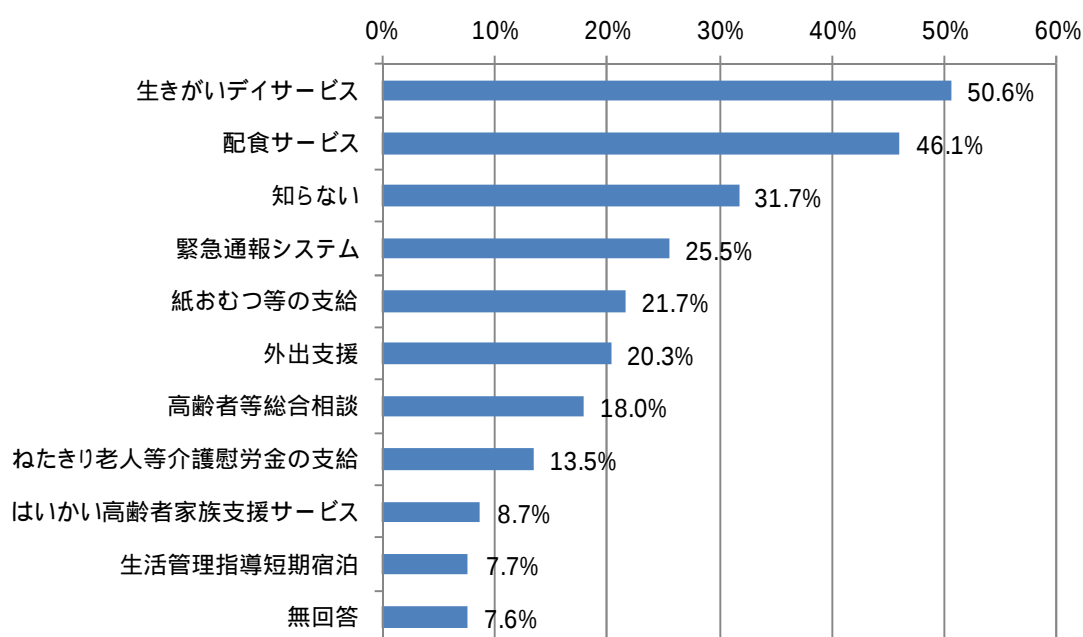
図表 29 日常生活においてどのようなことに不安を感じているか【問8（2）】



日常生活における不安事項として、「あなた自身の健康について」が50.4%と半数を占め、最も高い結果となっています。また、「家族の健康や家族に対する介護について」が25.8%、「あなた自身の介護について」が25.3%と介護についての不安を感じている者が比較的高い結果となっています。その他、「物忘れがひどくなること」や「災害時のこと」と回答した者は2割程度となっています。

図表 30 美里町の高齢者サービスを知っていますか【問8(3)】

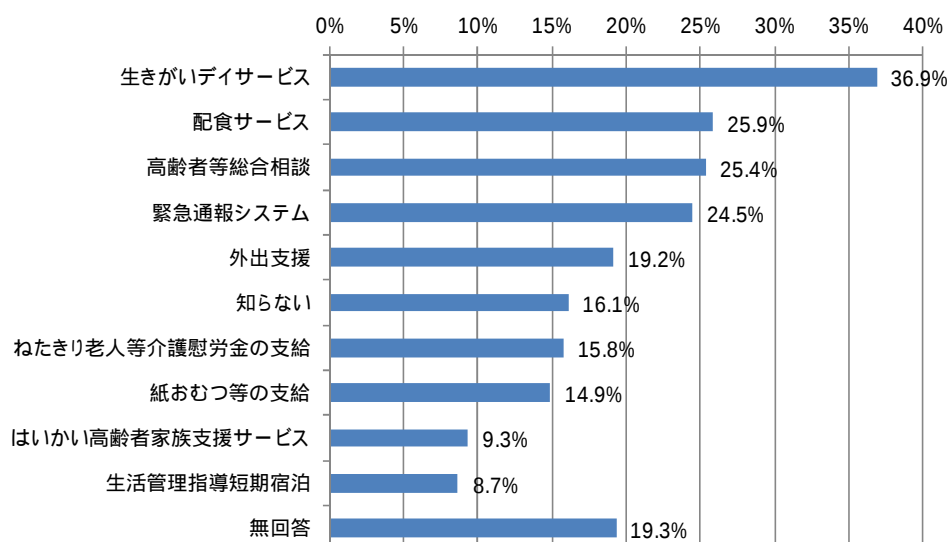
有効回答数 N=3,033		
	回答数	割合
生きがいデイサービス	1,534	50.6%
配食サービス	1,397	46.1%
緊急通報システム	774	25.5%
外出支援	617	20.3%
紙おむつ等の支給	657	21.7%
高齢者等総合相談	545	18.0%
ねたきり老人等介護慰労金の支給	409	13.5%
はいかい高齢者家族支援サービス	265	8.7%
生活管理指導短期宿泊	234	7.7%
知らない	961	31.7%
無回答	229	7.6%



美里町の高齢者サービスの認知度についてみると、「生きがいデイサービス」が50.6%、「配食サービス」が46.1%で半数程度の認知度となっています。その他、「緊急通報システム」が25.5%、「紙おむつ等の支給」が21.7%、「外出支援」が20.3%と続いています。一方で、「知らない」と回答した者は31.7%となっています。

図表 31 今後利用したいと思う高齢者福祉サービス【問8(4)】

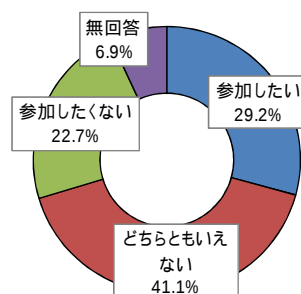
有効回答数 N=3,033		
	回答数	割合
生きがいデイサービス	1,118	36.9%
配食サービス	785	25.9%
緊急通報システム	743	24.5%
外出支援	582	19.2%
紙おむつ等の支給	453	14.9%
高齢者等総合相談	770	25.4%
ねたきり老人等介護慰労金の支給	479	15.8%
はいかい高齢者家族支援サービス	283	9.3%
生活管理指導短期宿泊	263	8.7%
知らない	489	16.1%
無回答	586	19.3%



今後利用したいと思うサービスについて、「生きがいデイサービス」が36.9%で最も高く、「配食サービス」が25.9%、「高齢者等総合相談」が25.4%、「緊急通報システム」が24.5%と続いています。サービス認知度と比較すると、「高齢者等総合相談」が利用したいサービスとしては上位にきており、ニーズの高さがうかがえます。

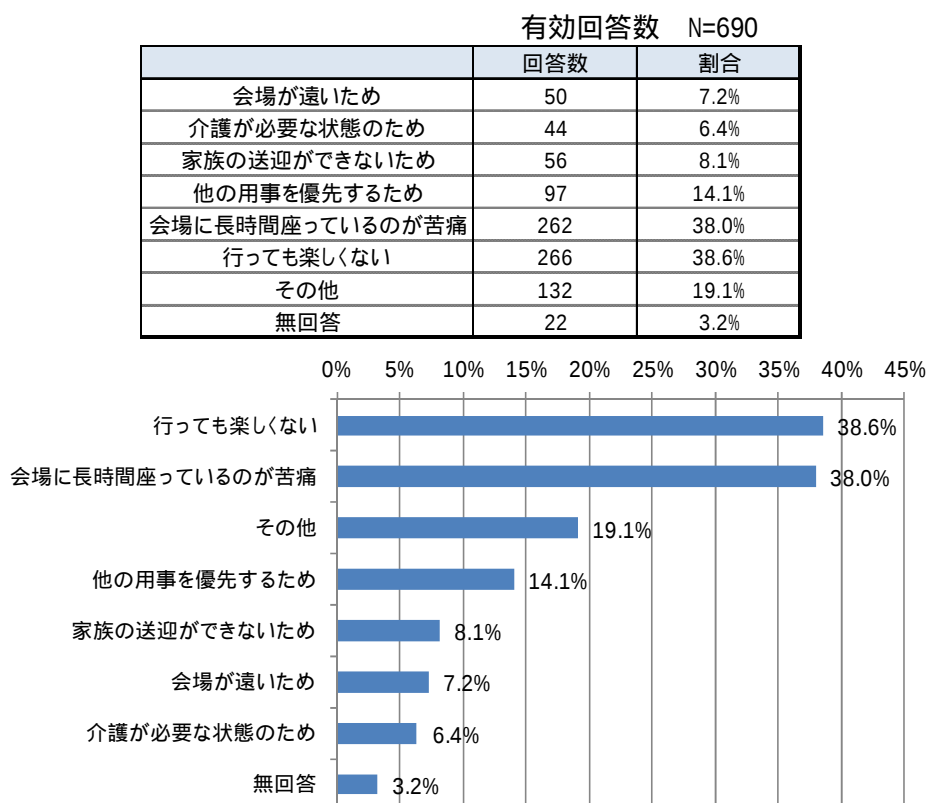
図表 32 毎年実施している敬老式に参加したいと思いますか【問8(5)】

	回答数	割合
参加したい	887	29.2%
どちらともいえない	1,246	41.1%
参加したくない	690	22.7%
無回答	210	6.9%
全体	3,033	100.0%



敬老式への参加意向として、「参加したい」と回答した者は29.2%に対し、「参加したくない」と回答した者は22.7%と参加したいの方がやや高い結果となっています。また、「どちらともいえない」と回答した者が41.1%となっており、敬老式の認知度や参加の意向を高めていくことは、高齢者同士の交流や健康増進の普及に有効であると考えられます。

図表 33 敬老式に参加したくない理由【問 8（5）】



敬老式に参加したくないと回答した 690 名のうち、「行っても楽しくない」と回答した者が 38.6%、「会場に長時間座っているのが苦痛」が 38.0%と高い結果となっており、敬老式を有意義に感じていない理由によるものが多い傾向がうかがえます。

図表 34 敬老式の会場について望ましいと思う会場数【問 8（5）】

有効回答数 N = 3,033		
	回答数	割合
現在のままでよい	1,735	57.2%
町内1会場	14	0.5%
行政区単位	342	11.3%
小牛田1会場・南郷1会場	104	3.4%
小学校の単位	271	8.9%
その他	113	3.7%
無回答	454	15.0%

敬老式の最適だと思う会場数について、「現在のままで良い」が 57.2%で半数以上を占めています。次いで、「行政区単位」が 11.3%、「小学校の単位」が 8.9%となっています。

第 3 章 総 括

- 一人暮らしと高齢者の夫婦二人暮らしの世帯が多く、主な介護者として配偶者が多いことから、配偶者自身が健康であることや要介護者の重度化予防が大切になってきます。
- 主な介護者の 50% が息子・娘・子の配偶者であり、介護離職を防ぐ取組が必要です。
- 介護が必要になった理由の一位が「高齢による衰弱」であり、また転倒に対する不安を多くの方が持っています。外出をしていない方や外出が減っている方がおり、その理由として「足腰の痛み」を挙げる方が 50% を超えています。転倒の不安から外出が少なくなり、足腰の機能低下が進み、痛みが出現することでさらに活動が減るという悪循環を生んでいることが分かります。この悪循環を予防できるような介護予防の取組が必要です。
- 物忘れが多いと感じている方が 40% を超え、今日が何月何日か分からない方が 20% を超えています。今後高齢者人口が増えることから、認知症の方が増えることが予測されるため、その方々が安心して生活ができるような取組が必要と思われます。
- 地域の活動に参加してはいないが、活動への参加や企画、運営をしたいと思う高齢者が多くおり、一方では趣味や生きがいが見つからないという方もいますが、地域での活動について情報発信や啓発を行うことで、住民が社会的役割や生きがいを持って、それぞれの地域で活動できる方が多くなるのではないかと考えます。
- 日常生活に不便や不安を感じながら、友人・知人以外の相談相手では「そのような人はいない」と回答している方が多くおり、また福祉サービスを「知らない」という方も多くみられています。
- よく会う友人・知人は近所や同じ地域の人であり、不便を感じていることの上位が、外出や買い物や掃除等であることから、生活支援の在り方を関係機関や住民の方と検討していくことができるのではないかと考えられます。